

中国電信 (チャイナ・テレコム)、Attachmate の Reflection X を採用



中国電信集团公司 (China Telecommunications Corporation) は、世界最大規模を誇る電気通信とブロードバンドのサービスプロバイダです。中国中央政府の管理下にある同社は従業員 67 万人を擁し、有線音声、携帯音声、データ、ビデオ、マルチメディアなどの遠隔通信および情報サービスを提供しています。

中国電信は、世界最大の固定電話網に加え、2 億 800 万の有線アクセス回線、4400 万人のブロードバンド加入者、さらに携帯電話加入者は 2800 万人に達する勢いと、圧倒的な数字を誇っています。

3G 携帯サービスに対応する最新のインタフェースとより強力なセキュリティ

2009 年 1 月、中国電信は中国政府より CDMA2000 3G ライセンスを取得しました。3G 携帯サービスの導入に着手して以来、中国電信ではネットワークも著しく複雑化しています。3G 携帯サービスに乗り換える顧客が急増した上、今までにない数のアプリケーションが複数のプラットフォームで実行されるようになったからです。このため、ネットワーク管理とデータセキュリティの見直しが必要事項となりました。

「それまで我々が使用していたネットワーク管理ツールは時代遅れのものでした」と中国電信のエンジニア、チェン・ガン氏は述べています。「レスポンスタイムが長く、UNIX ホストや ANSI 端末の複雑なデータをグラフィック表示することができませんでした。そのため、3G 携帯サービス関連の問題を即座に解決することを、お客様に対して必ずしも保証することができませんでした」。

また、セキュリティも頭の痛い問題でした。中国電信では Windows のフロントエンドシステムに FTP や Telnet を併用して、ホストデータにアクセスしていました。チェン氏はさらに、「元来 FTP と Telenet が安全性の面で問題があることを考えると、このプロセスのセキュリティを強化し、顧客データの保護を向上させる余地は十分にありました」と述べています。

中国電信が必要としていたのは、データセンターの管理者がすばやくハンズフリーでホストデータにアクセスでき、ファイル転送に関するセキュリティを向上させることによって、ネットワーク管理を容易にする、一体化型ソリューションでした。最終目標は顧客サービスの向上でした。

まとめ

課題

中国電信では、新たに認可を受けた 3G 携帯サービスの導入にあたって大幅なネットワークのアップグレードの必要性が生じ、UNIX ホストへのアクセスに使用する低速で時代遅れのシステムを交換する必要にせまられました。

ソリューション

Reflection X の特長:

- グラフィカルユーザインタフェース (GUI)
- デスクトップとホスト間の安全な通信
- 複数の機能を 1 つのソリューションに統合

成果

- 生産性の向上
- 顧客データの安全性の向上
- ソフトウェア経費の削減
- 顧客サービスの改善

一体型ソリューション

中国電信は、Windows ベースのデータセンターを UNIX ホストに接続する方法をいくつも検討しました。しかしながら、そのようなニーズを満たす製品は、Attachmate の Reflection® X しかありませんでした。「Reflection X 以外に、当社のニーズをすべて満たすような柔軟性を備えた製品はほかにありませんでした」とチェン氏は語ります。「高速アクセス、さらに強化されたセキュリティ、X11R6.9 標準 Windows システム対応、そしてブラウザベースの管理ツールとの統合性。Reflection X はすべてを実現する製品です」。

Reflection X では、強力な PC X サーバ、VT 端末エミュレータ、安全な FTP クライアントによって、UNIX ベースのホストアクセスに欠かせないニーズを幅広くカバーしています。この多目的ソリューションにより、デスクトップショートカットを使用して、グラフィカルな UNIX アプリケーションを簡単に起動することができます。Windows アプリケーションの柔軟性はそのままに、Windows と UNIX 間でテキストとイメージのコピーと貼り付けもできます。

Reflection X は、PCI 監査、SOX 法、HIPAA、バーゼル II の指令に準拠に必要な、内部および外部のセキュリティ要件を満たすよう設計されています。また最新の SSH、SSL/TLS、Kerberos 暗号化と認証技術を搭載し、さらに、FIPS 140-2

「Reflection X が当社のすべてのニーズに 1 つのソリューションで応えてくれたおかげで、ソフトウェアの購入費を削減できました。他社の製品ではこれほどの機能性を期待することはできません」。

- 中国電信エンジニア
チェン・ガン氏

の検証を受け、セキュリティ基準である DoD PKI の認定も受けています。これらは米国政府の最も厳格なセキュリティ標準規格です。

中国電信は国内の 10 のデータセンターで Attachmate のソリューションを導入しました。その結果、管理者は PC ワークステーションと ANSI 端末から、X ウィンドウ環境とホスト情報に簡単にアクセスできるようになりました。

時間とコストの削減

Reflection X は、PC X サーバ、VT 端末エミュレータ、安全な FTP クライアントを、1 つの配布パッケージにまとめた製品です。中国

電信は Reflection X の広範な機能を活用しています。チェン氏によると、「Reflection X が 1 つのソリューションで当社のニーズすべてに応えてくれたおかげで、ソフトウェアの購入費が削減できました」とのことです。「他社の製品ではこれほどの機能性を期待することはできません」。

しかも、Reflection X では、他社製品とは比較にならない速度と精度で、グラフィックと 3D の X アプリケーションを表示できます。おかげで従業員の生産性も向上したとチェン氏は報告してくれました。「Reflection X の導入によってリソースに余裕ができ、その分をビジネスの他の面、たとえば 3G 携帯サービスの改善などに回すことができました」。

Reflection X では、機密データの保護だけでなく、高度なファイル転送能力によって時間、すなわちコストを削減することができます。「Reflection X では、ドラッグ & ドロップ、コマンドラインを使用する方法以外に、FTP、FTP/S、SFTP などの幅広いプロトコルを利用できる API ファイル転送インターフェースを使用して、自動ファイル転送を行います」。

円滑な導入

中国電信は Attachmate との緊密な協力により、Reflection X を円滑に導入することができました。また、Reflection X の最大限の活用も目指していました。チェン氏によると、インストール時には Reflection X に搭載された構成ウィザードとテンプレートが効力を発揮したということです。「1 人のエンドユーザのためのインストールに 1 分もかかりません。これにはうちの IT 部門もたいへん満足しています」。

「Reflection X の性能と、その結果として時間と経費を節約できたことにとても喜んでいきます。数か月以内に、Reflection のライセンスを買い足す予定です」。



日本支社
NetIQ 株式会社 Attachmate 事業部
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1-1
住友市ヶ谷ビル 9階
TEL 03-3513-5111 FAX 03-3513-5112
E-mail jinfo@attachmate.com
URL www.attachmate.jp

米国本社
1500 Dexter Avenue North
Seattle, WA 98109 USA
TEL +1 206-217-7500
FAX +1 206-217-7515
URL www.attachmate.com

*NetIQ 株式会社は米国 Attachmate Corporation の 100% 子会社です。

【販売代理店】

CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

本 社 〒101-0022 東京都千代田区神田練馬町3 富士ソフトビル
Tel: (03)5297-3487 Fax: (03)5297-3646
中 部 支 社 Tel: (052)219-5900 Fax: (052)219-5970
西日本支社 Tel: (06)6940-3650 Fax: (06)6940-3601

■ <http://www.cybernet.co.jp/reflection/> ■ rinfo@cybernet.co.jp